

1. 評価結果概要表

平成 20年 12月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	2071500538		
法人名	社会福祉法人恵和会		
事業所名	グループホームこまくさ野村		
所在地	長野県塩尻市広丘野村 2146 (電話) 0263(51)1128		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年12月3日	評価確定日	平成21年1月22日

【情報提供票より】(20年 11月 10日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 7月 28日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤4人	非常勤5人 常勤換算6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	4 階建ての	4 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,250 円

(4) 利用者の概要 (11月 10日 現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	2名	要介護2	3名			
要介護3	3名	要介護4	1名			
要介護5	要支援2					
年齢	平均	89 歳	最低	85 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こまくさ野村クリニック 中信松本病院 相澤病院 松本病院 清水歯科医院 内川歯科医院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは広丘野村の街の中に建設された複合施設の4階に設置されている。ホーム屋上からは周辺の町並みや、アルプスの山並みが望め入居者は住み慣れた地の眺望を楽しんでいる。施設長は医師として長年の経験と専門性を持ち合わせ、近年の高齢化に伴って増加しつつある高齢者認知症ケアへの思いの実現に努められ、近隣に生活感が望める現地を選ばれている。近くには大型店や公園があり、入居者は職員の寄り添いの支援のもと買い物や散歩に出かけ地域住民との交流を持ちながら、住み慣れた地域での生活を楽しく豊かに過ごされている。ホームでは多くのボランティアや研修生を連れて受け入れており、入居者にとって地域との関わり(交流)や地域で生活する広がりも得られている。また幼稚園児、小中学生には入居者と交流を持つことで偏見無く自然に認知症のお年寄りを受け入れる基盤づくりとなり教育的効果に繋がっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	重度化や終末期のあり方について、入居者やご家族と話し合いが行われると共に、状態変化に合わせてご家族、医師、看護師、職員、関係者により十分な話し合いが持たれ入居者やご家族の合意が得られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義や目的を職員全員で理解をし、全職員で話し合い自己評価が行われている。職員一人ひとりの意識の向上が図られ、ケアサービスの質の向上に取り組みされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は二ヶ月に一回の頻度で定期的開催されている。ホームの近況報告(入居者の日常の様子や行事、取り組み状況等)や今後の行事予定、消防署員より災害(火災・地震)で気をつけることについて説明があり、災害時における地域としてのかかわり方について相互協力の話し合いが活発に行われている。また警察職員より高齢者・認知症の方々の事故や安全確保への取り組みについてのお話、日頃利用されている近隣の商店へホームからの要望等について活発な質疑応答が行われ、入居者の安全と地域・商店との関係がより良好に保たれている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱の設置やアンケートの実施により安心して意見を表出できる機会が設けられている。なお電話連絡やホーム便りにより日常の様子も伝えると共に、面会時には入居者の状況やホームの様子を報告して信頼関係を築くよう努められている。出された意見や要望は会議等で話し合い運営に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	日常的な散歩や買い物等の外出時に挨拶を交わすなど、顔見知りの関係が築かれ生活の豊かさが得られている。ホームは複合施設の4階にあり、ホーム直通のエレベーターが設置され外部から訪問し易い使用となっており、ご家族や地域の方々(隣人、幼稚園児、小中学生等)が気軽に訪問して交流を持たれている。なお地域の小中学校の職場体験学習やボランティア活動や大学・短大・専門学校の実習等の受入れも行われている。また地域の方々を対象とした介護教室やおしゃべり会、勉強会も行われ地域との連携が図られている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての特徴が組み入れられた理念「地域の方々がその人らしく生き生きと」を柱におき、住み慣れた地域での継続支援と地域との関係性強化を掲げ、地域密着型サービスの役割を反映した理念の内容となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時にはホーム理念について伝え理解が得られている。なお毎月開催される会議において理念の共有について確認し、サービス提供に活かすために全職員の意見の統一を図られている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常的な散歩や買い物等の外出時に挨拶を交わすなど、顔見知りの関係が築かれている。町会に加入し情報交換が得られ、地域の行事等に積極的に参加されている。(文化祭、三九郎など)なお幼稚園児や小中学生との交流も図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義について、全職員で話合われ理解をし自己評価が行われている。外部評価結果は会議で報告され、改善に向け努力されている。		

グループホームこまくさ野村

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回の頻度で運営推進会議を開催し、出席者(入居者、ご家族、区長、消防署、警察署、民生委員、市担当者、法人・ホーム職員等)多数により議題に沿って活発な質疑応答が行われている。会議録を全職員に報告し、今後のケアの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>ホームには何らかの介護と支援を必要とする入居者が居住されており、職員だけの誘導の限界を認識し、安全に非難して頂く為にホームの災害時対策(夜間想定も含む)に関する理解を深め、地域の協力体制について再度継続検討を重ね、地域との防災協定が得られることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在新設のグループホーム立ち上げに向けて日々市職員との交流があり協働関係が築かれている。なお市より派遣される相談員さんの訪問を受け助言によりサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会時や運営推進会議へ出席の折又電話連絡により、入居者の状況やグループホームの様子をできる限り伝え信頼関係の構築に努められている。なおホーム便りに写真入の行事や日常の様子が伝えられ、職員の異動も報告されている。金銭管理については、出納帳のコピーとレシートを送付し確認を得られている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム玄関に意見箱を設置するとともに、アンケートを行うなど安心して意見等を表出できる機会づくりに努められている。なお面会時にはご家族が職員に意見を言いやすい雰囲気づくりに努められている。出された意見や要望は会議等で話し合い運営に反映する仕組みがとられている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は職員の異動による入居者へのダメージを理解されており、顔なじみの関係づくりに心がけられ、できる限り異動は行っていないことを伺った。なお退職などでやむなく職員が変わる折には、新入職員に慣れるまで引継ぎ期間を取られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人独自の新人研修や県(認知症介護実践者研修)や、他ホームへの研修参加できるよう支援されている。なお研修参加後に会議の場で報告し、全職員に研修内容の共有化が図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームへの見学や研修を通して意見交換を行いサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員が自宅に出向いたり、ホームは複合施設の中にありデイサービスやショートステイ利用時より見学していただき、ホーム内の様子や他の入居者や職員等と馴染みの関係を築かれ、安心と納得によるスムーズなホーム入居に至っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者が住み慣れた地域の中でその人らしく暮らす続けるために、職員と入居者は共に暮らす者同士として日常生活の中で教えられ支えあう関係を築かれると共に、楽しんだり、喜び合える場面づくりに取組まれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の寄り添いのケアの中より入居者の思いや意向の把握に努められている。意思の表出が困難な方についてはご家族や関係者より情報を得られている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の生活歴より得られた情報や日々の関わりの中より得られた情報の中より気付き、思いや意見をもとに入居者やご家族と話し合い、地域でその人らしく暮らし続けるための個別の介護計画を作成されている。なお今年度よりセンター方式にも取組まれ、より一層きめ細かい入居者主体の暮らしを反映した介護計画の作成に努められている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者のきめ細かい気付きが記録されており職員間で共有が図られている。状態変化に伴い入居者やご家族の要望を伺い現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者やご家族が安心して暮らし続けて行くために必要な多様な支援が行われている。個別的な買い物や墓参り、受診時の付き添い、ご家族のホーム泊支援等入居者やご家族の状況に則した柔軟な対応が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者やご家族が希望されているかかりつけ医が施設建物内にあり、入居者の状態変化や健康面で心配のある方は何時でも受診や相談ができる関係づくりが出ており、入居者、ご家族の安心に繋がっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方について、日頃より入居者やご家族の意向を伺いホームが対応し得る最大のケアについて説明が行われている。なお状況変化にともないご家族、医師、看護師、職員、関係者等により十分な話し合いを持ち方針の統一を図り、入居者やご家族の安心と安全に繋がられている。開設以来二名の入居者の看取りにより、チームの連携や職員の力量の向上が得られている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員会議等で入居者の尊厳や個人情報保護法の理解に努められ、秘密保持の徹底を図られると共に、職員は常に入居者の立場に立った対応に心がけ、入居者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損ねることのないよう配慮し支援されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の思いの把握に努められ、入居者の気持ちを尊重し、入居者のペースに沿った生活が送れるよう支援されている。</p>		

グループホームこまくさ野村

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常ご飯と味噌汁はホームで調理されている。しかし副食については施設の厨房より配食されている。入居者一人ひとりの力量にあわせ役割分担があり、盛り付けや食後の片付け、テーブル拭き、食器洗い、食器拭き、お米とぎ等それぞれ手際よく行われている。時には入居者の馴染み料理や季節料理等を職員と一緒に作り楽しまれている。食事摂取が自力で困難な方には介助をされている。		入居者と職員が同じテーブルを囲んで同じものを一緒に摂り、食材や味等の共有の話題を楽しみながらの食事となることが望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望や身体状況に応じた入浴支援が行われている。(入浴日、入浴時間、入浴方法等の選択が可能)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活暦や日々ホームで生活する中より一人ひとりに合った楽しみごとや役割を見つけ出し、入居者と相談しながら気晴らしの支援をされている。(畑仕事・季節の漬物・豆拾い・編み物・刺し子・カラオケ・ゲーム等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	生活の場は「家であるホーム」と「ホームが存在する地域」であり、できる限り在宅生活と変わらない生活を送れるよう、天候や入居者の状態を考慮し日常的な外出支援が行われている。(散歩・買い物・外食・ドライブ等)		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	訪問時(日中)は玄関に施錠はされていなかった。入居者に離設志向が見られたおりには、声掛けや寄り添いの支援により、安全面に配慮した自由な暮らしが得られている。		

グループホームこまくさ野村

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回消防署立会いの下避難訓練が実施されている。地域との協力体制については、運営推進会議等において地域の方々に協力を求められている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分・食事摂取量についてはチェック表を用いて把握を対応されている。なお入居者の好みや身体状況を把握して食事提供ができるよう支援されている。訪問日には二種類の選択食が用意され「いつも食事が美味しい」と完食されていた。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間(玄関・居間・食堂等)に季節の花や入居者の作品が飾られると共に、和室には書棚が配置されており何時でも閲覧できる使用になっている。なお訪問日には施設の行事に向けてお餅つきをされており、もち米の蒸ける匂いや味噌汁の匂いに生活感があり、入居者は家庭的な雰囲気の中で居心地よくゆったりと過ごされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が使い慣れた品(タンス・椅子・テレビ等)や好みの品、家族写真等が自由に持ち込まれ、それぞれ思い思いの居心地の良い居室づくりがされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。